

コース
NO.12

法道仙人と弘法大師の足跡を訪ねて

しゅうへんじ ふどうのお

NEW 古刹周遍寺と不動ノ尾石棺仏散策コース

最寄駅：北条鉄道 網引駅

約8km

一般向

約2時間45分
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

北条鉄道
網引駅スタート

約70分

不動ノ尾石棺仏

約45分

周遍寺

約50分

北条鉄道
網引駅ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823

コースガイド

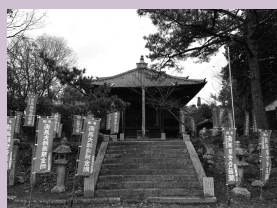
網引駅をスタートし踏切を越えて南へ歩く。下里川の橋を渡り左折。川沿いの道を歩き、途中右手に階段があるので右折。テニスコートと多目的広場の横を通り加西南産業団地内を歩く。産業団地を抜けたら右折し歩道を歩く。しばらく歩くと左手に旧道へ入る道があるので車に注意して横断する。旧道を歩きしばらくすると右手に不動ノ尾石棺仏がある。石棺仏を見学したら折り返し、産業団地前の道を右折し歩道を歩く。南網引の信号を右折し、県道79号線を歩く。しばらく歩くと右手に山道へ入る道があるので右折する。登り応えのある長い山道を歩くと周遍寺に到着。境内には展望台があり、眺望がとても素晴らしい。境内を散策後、南網引の信号まで折り返し歩く。交差点を直進し、左側の歩道を歩く。左手に状覚山2号墳があり、県道の上の播磨中央自転車道付近にはハメ塚石棺仏があるので探してみよう。下里川を渡り、踏切手前の川に近い道を左折し、お地蔵さんがある道を右折する。踏切沿いの道を左折し、ゴールの網引駅へ到着。



周遍寺からの眺望

イチオシ 周遍寺

白雉2年(651)に法道仙人が草創したという古刹で、中世には七堂伽藍を備えた当地有数の名刹として栄えました。しかし、天正6年(1578)羽柴秀吉軍の兵火にかかり伽藍を焼失。天和2年(1682)地元の里長高田六郎右衛門正恒らが中心となり再興しました。現在は本堂や右隣の開山堂、庫裏西側の大師堂、鐘堂などが残っています。展望台が整備され、素晴らしい眺望をのぞむことができます。



石造多層塔

トピックス

【周遍寺石造多層塔】

周遍寺四国88カ所めぐり道中に、高田六郎右衛門正恒が寄進された石造多層塔があります。高さ約3mの九重塔で相輪部と最上層部は落下しています。付近には五輪塔や石仏が集められ、周遍寺中興の祖高田氏の威徳を偲んでいるかのようです。



不動ノ尾石棺仏

周遍寺



トピックス

【不動ノ尾石棺仏】

長石と思われる家形石棺の蓋に地蔵菩薩立像が彫られ、像の彫りは深く面相は摩滅しているが耳は大きく、右手を下げ左手に宝珠を持っています。南北朝時代の制作。総高160cm、幅94.5cm、厚さ38.5cm。